



FLAT STEEL TABLE

黒皮鉄という素材がある。あらゆる鉄鋼材料は、スラブと呼ばれる分厚い鉄の塊が、圧延という加工により薄く引き伸ばされることで生成される。その過程、高温で熱され成形された鉄が空気に触れると、表面が酸化し、黒ずんだ皮膜が発生する。この酸化皮膜が黒皮である。黒皮には、塗装などでは表現できない独特の色合いやムラ感、艶感があり、ラフで、無骨で、格好つけた感じが無いのに格好いい。そんな魅力がある。

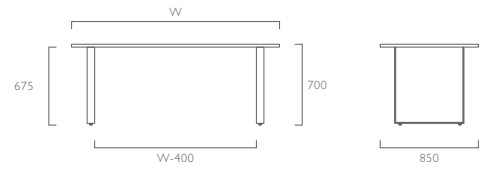
FLAT STEEL は、そんな黒皮材を脚部に採用したダイニングテーブル。黒皮は材料によって色ムラなどの個体差があるため、通常は着色塗装やメッキを施し、品質が一定となるように後加工される。しかし、それでは鉄本来の素材感、黒皮の魅力は失われてしまう。そのため FLAT STEEL では錆びを防止するクリア塗装のみを施し、黒皮の素材感はそのまま残した。必然的に個体差は出てしまうが、無垢材しかり、自然な素材感を活かすのだからそれは当然のこと。常に黒皮が最良というわけではなく、目指す雰囲気によって残すか、黒などでつぶすかを選択するのだけれど、今回はとことん自然のままに、あるがままに。着色を行っていないので、部材同士を接合した溶接痕もそのまま残っている。職人によるひとつひとつの手仕事の跡をながめていると、鉄の冷たさの中にも、温かみや人間味を感じられるよう。同じ表情のものはひとつとして存在しない。

薄い平鋼を使用した脚部は、黒皮の質感が無骨さを醸しながらも、どこかシックな雰囲気も持ち合わせている。だから上品めのコーディネートにも合わせやすく、その中でラフな素材感がほどよいアクセントになる。ちなみに、脚の底部にはアジャスターが付いているので、鉄部は直接床に触れず、フローリングを傷つけたりはしない。

FLAT STEEL には幕板が無いので、アームの高いチェアを合わせるのに向いている。座っている時、ついつい足を組んでしまう人にも幕板の無いテーブルはおすすめ。コンパクトめのアームレスチェアなら幅 1400mm (脚間幅 1000mm) で 4 脚、脚間におさまる。アームチェア 4 脚なら幅 1600mm (脚間幅 1200mm) でギリギリおさまり、1800mm (脚間幅 1400mm) でゆったりおさまる。また、脚が少し内側にはいつているので、短手にも座れる。来客があった時に席を用意できるよう、スツールなどを余分に用意しておくとう便利だ。

[天板]ウォールナット無垢材(オイル仕上)/ナラ無垢材(オイル仕上) [脚部]平鋼 [機能]アジャスター付/組立式 日本製

REMBASSY



TYPE	PRICE
W1800 W1700 D850 H700	[WALNUT] [NARA] 339,900
W1600 W1500 D850 H700	[WALNUT] [NARA] 308,000
W1400 W1300 D850 H700	[WALNUT] [NARA] 284,900
W1200 W1200 D850 H700	[WALNUT] [NARA] 255,200

価格はすべて税込表記です。